

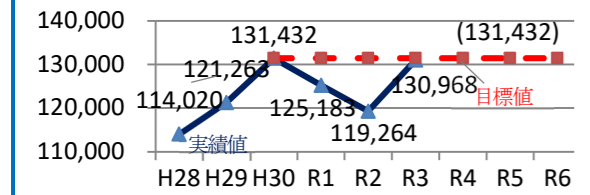
令和4年度の数値目標の進捗状況について（概要）

○10項目の数値目標のうち現時点で令和4年度の実績値が判明しているのは7項目で、このうち「④人口の社会増」など**2項目が進展**しました。
 ○一方で、「⑥外国人の延宿泊数」など5項目が進展しませんでした。（指標名が灰色：未判明、赤：進展、青：進展せず）
 ※詳細は参考資料2「千葉県地方創生『総合戦略』推進管理シート」を参照

基本目標1 地域経済の好循環を生み出す環境づくり

①県内製造品出荷額等

令和4年の実績値：未判明
 [令和3年の実績値：130,968億円]
 令和6年の目標値：131,432億円超

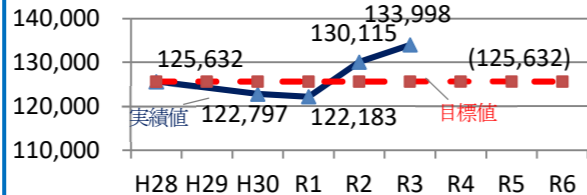


【主な要因分析】
 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一方で、緩やかな景気回復。
 【主な課題】
 京葉コンビナートの競争力強化、成長産業、新産業の育成等が必要。中小企業の生産性向上のためIoT導入促進が必要。
 【主な取組方針】
 ・国際競争力の強化とカーボンニュートラルの両立や、製品開発を支援。
 ・産学官・企業間の連携促進。基盤技術の高度化を支援。
 ・IoT利活用を通じた生産性向上の実現に向け、セミナー等開催、専門家派遣。

基本目標1 地域経済の好循環を生み出す環境づくり

②県内年間商品販売額

令和4年の実績値：未判明
 [令和3年の実績値：133,998億円]
 令和6年の目標値：125,632億円超

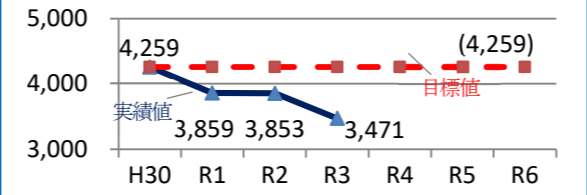


【主な要因分析】
 R3はR2からの増加だが、全国で県が占める割合が減少し、全国順位は第9位に留まる。
 【主な課題】
 ・中小企業経営者の高齢化への対応。
 ・中小企業の経営力を向上。
 ・起業家を応援する機運を高め、企業数の減少への対応。
 【主な取組方針】
 ・事業引継ぎ支援センター等の広報。
 ・優れた県内企業の製品を認定。
 ・チャレンジ企業支援センターの活用促進、専門家派遣。

基本目標1 地域経済の好循環を生み出す環境づくり

③農業産出額

令和4年の実績値：未判明
 [令和3年の実績値：3,471億円]
 令和6年の目標値：4,259億円超

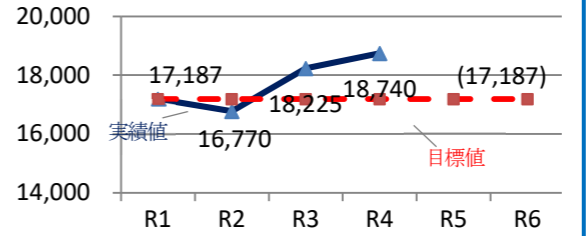


【主な要因分析】
 ・資材費や施工費高騰で生産コスト上昇。
 ・飼料価格の高騰等で酪農経営環境悪化。
 【主な課題】
 ・農業者の状況に合わせた適切な規模・設備のハウスを導入。
 ・経営に合うスマート農業の機器選定。
 ・革新的な技術と品種改良の推進。
 【主な取組方針】
 ・ハウス改修の支援メニューの活用に向けた事業の周知。
 ・スマート農業導入支援や酪農ヘルパー利用支援で労働環境の改善推進。

基本目標2 県内外に発信する魅力づくり

④人口の社会増

令和4年の実績値：18,740人
 令和6年の目標値：17,187人超

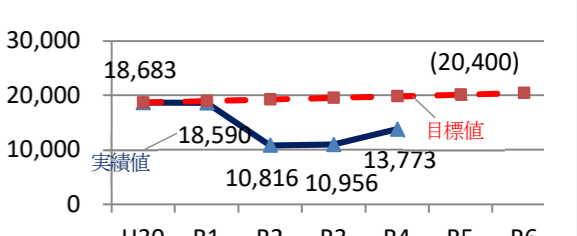


【主な要因分析】
 ・都内に移住相談窓口、相談員を配置。
 ・道路等の整備で交通を円滑化。
 ・「ちば文化資産」で文化的魅力発信。
 【主な課題】
 ・移住受入では、市町村との連携強化。
 ・道路整備では、関係団体と連携し、国への整備促進の働きかけ。
 ・多様な文化的な魅力を継続的にPR。
 【主な取組方針】
 市町村と連携した情報発信や移住フェアへの出展を実施。道路等の整備促進について国への要望活動。千葉の魅力を発信する機会の拡大。

基本目標2 県内外に発信する魅力づくり

⑤観光入込客数

令和4年の実績値：13,773万人
 令和6年の目標値：20,400万人

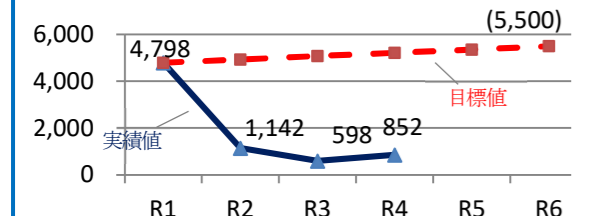


【主な要因分析】
 感染症拡大前の7割程度の回復にとどまるが、キャンペーンや水際対策の緩和で回復傾向。
 【主な課題】
 本県観光は日帰り観光客が多く、宿泊を伴う観光や滞在の長時間化を促す必要。
 【主な取組方針】
 ・観光地魅力アップ整備事業を広く周知して民間事業者の整備を促進。
 ・旅行のニーズを的確に把握し、PR活動に生かす。

基本目標2 県内外に発信する魅力づくり

⑥外国人延宿泊数

令和4年の実績値：852千人泊
 令和6年の目標値：5,500千人泊

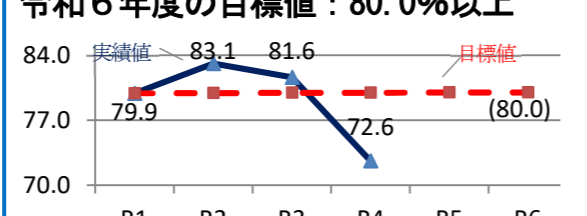


【主な要因分析】
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で激減したが、水際対策の緩和で回復傾向。
 【主な課題】
 回復傾向にあるが、自治体間の誘致競争が激化しており、本県の魅力をさらにPRしていく必要。
 【主な取組方針】
 ・旅行のニーズを的確に把握し、PR活動への活用及び観光コンテンツ作り促進。
 ・立地条件、自然、食材、文化資産を生かした効果的なPR等を実施。

基本目標3 子育てしやすい社会づくり

⑦子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合

令和4年度の実績値：72.6%
 令和6年度の目標値：80.0%以上

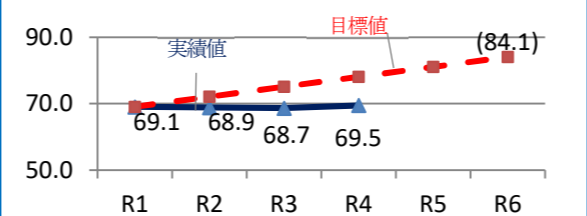


【主な要因分析】
 ・新型コロナウイルス感染症拡大により保育サービスの利用ができない。
 ・物価高騰による家庭負担が増加。
 【主な課題】
 ・周産期医療体制の広域的な対応。
 ・小児科医等の負担軽減。
 ・保育所等の施設整備、保育士の質・量の確保。
 【主な取組方針】
 ・小児救命救急センターの更なる指定を検討。
 ・保育士の処遇改善を進め、資質向上の研修会を実施。

基本目標4 誰もが安心して暮らせる地域づくり

⑧自主防災組織のカバー率

令和4年度の実績値：69.5%
 令和6年度の目標値：84.1%

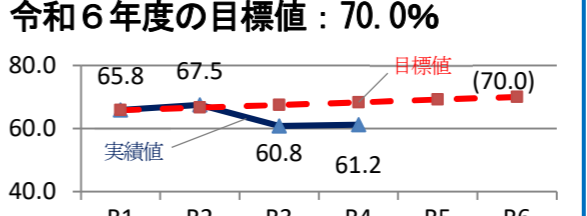


【主な要因分析】
 ・自主防災組織の活動促進に対する補助。
 ・リーダー人材の育成研修を実施。
 【主な課題】
 ・県民や地域の防災意識の更なる高揚、カバー率が低い市町村に対する働きかけや支援が重要。
 ・防災リーダー養成の研修会等が必要。
 【主な取組方針】
 ・千葉県地域防災力向上総合支援補助金等により市町村の取組を支援。
 ・自主防災組織等のリーダー向けの実践的な研修を実施。

基本目標4 誰もが安心して暮らせる地域づくり

⑨自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にありと感じている県民の割合

令和4年度の実績値：61.2%
 令和6年度の目標値：70.0%

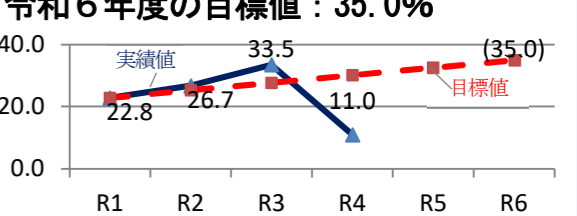


【主な要因分析】
 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療機関等の受診控え。
 ・急性期医療を経過した患者の受入や在宅復帰支援等を行う病棟が不足。
 【主な課題】
 医療機関の役割分担・連携の促進や、在宅医療を行う医師や看護師等の増加・質向上、24時間の在宅医療提供体制の整備促進が必要。
 【主な取組方針】
 ・地域医療構想調整会議の開催。
 ・在宅医療に関する研修の実施やアドバイザーの派遣等を実施。

基本目標4 誰もが安心して暮らせる地域づくり

⑩高齢者施策について満足している県民の割合

令和4年度の実績値：11.0%
 令和6年度の目標値：35.0%



【主な要因分析】
 感染症拡大の長期化により社会とのつながりが減少。
 【主な課題】
 ・地域包括ケアシステム構築のため、医療・介護等の専門職だけでなく、地域の一人ひとりが高齢者の生活の担い手として、地域づくりへ参加することが重要。
 ・福祉人材の確保に努める。
 【主な取組方針】
 ・地域包括ケアシステムを主体的に作り上げていく市町村への支援を実施。
 ・介護職員のキャリアアップに向けた取り組みを支援。